



双高だより

1月号(2011)

福島県立双葉高等学校

Tel0240-33-2131 Fax0240-33-2378

http://www.futaba-h.fks.ed.jp/

<進路状況>

1月は受験シーズン本番です。1月中旬のセンター試験を経て、私大や国公立大入試が始まります。就職希望者もここ数年続いている厳しい状況の中、内定獲得に向けて努力を重ねてきました。以下、今年度の進路状況をお知らせします。(1月7日現在)

就職関係では、長引く不況で企業が採用を手控える中、双高生は就職希望者31名のうち、30名が内定を勝ち取り、内定率は97%となっています。

進学関係では、国公立大学の推薦入試ですでに10名が合格しています。特筆すべきは、難関大学とされるお茶の水女子大学(文教育学部)や筑波大学(理工学群)にそれぞれ1名合格したことです。その他にも茨城大学に4名(工学部3、人文学部1)、福島大学1名(人文社会学部)、山形大学1名(工学部)、福島県立医科大学1名(看護学部)、会津大学1名(コンピュータ理工学部)に合格しています。その他、私立大学に24名、私立短大に10名、各種専門学校に24名が合格しています。

双高では個々の生徒の進路希望にあわせた指導の充実を図っています。就職や推薦入試希望者には、放課後に模擬面接を重ねて実施したり、国公立の推薦入試に不可欠な小論文試験について、進路希望の専門性にあわせて各教科の教師が担当になり、何度も添削指導を繰り返したりして個々のレベルアップに努めました。



一般受験の生徒も、通常の授業はもちろんのこと、放課後の

課外授業や冬休み中の冬期課外を実施し、苦手項目を洗い出して克服させるなど、実践力の向上に努めています。個々の力を十分に発揮するためには体調管理も重要です。努力が実って納得できる結果を勝ち取り、うれしい春を迎えて欲しいものです。

<学校行事>

生徒会誕生

昨年10月に生徒会選挙が行われ、会長1名・副会長2名が選出されました。その結果、新会長には猪狩良太君(富岡二中出身 写真中央)、副会長に秋元亮祐君(川内中出身 写真右)と蜂須賀康太君(浪江東中出身 写真左)が就任しました。新会長のあいさつのおり「生徒会が先陣に立って」更に活気のある双高にしてくれるものと思います。



修学旅行

2学年は昨年の10月17日~21日の日程で関西への修学旅行を実施しました。京都や奈良の寺社仏閣、大阪の町並みやユニバーサルスタジオジャパンなどを訪れました。これらの訪問先での研修や宿舎での友人との関わりは、普段の学校生活では味わえない、思い出深いものとなりました。



<部活動の活躍>

双高生の部活動の活躍は、2学期もめざましいものでした。

12月に行われた全国高校柔道選手権福島県大会では、女子が団体で優勝(杉本裕香部長 大熊中出身 写真左)、個人でも大和田むつみさん(大熊中出身 写真中央)が優勝し、今月に秋田県で行われる東北大会と、3月に東京の日本武道館で行われる全国大会への出場権を獲得しました。



2学期に東北大会に出場したのは、陸上部の石川慎也君(浪江中出身 左写真)と丹治綾さん(浪江中出身 右下写真)です。



9月に行われた新人戦の県大会で、石川君は三段跳びで2位に、丹治さんは3000m競歩で4位に入りました。同月末に青森県で行われた東北大会で



石川君は5位、丹治さんは18位となりました。2人とも今回の経験を生かし、冬季の練習を頑張りぬいて来シーズンに活躍する決意を強くしました。

ソフトテニス部の女子は12月のインドア選手権県大会において、団体で準優勝、個人でも松本莉佳(大熊中出身)・水野菜月(大熊中出身)組が3位に入り、今月に青森県で行われる東北大会への出場を決めました。